

開校150周年

学校だより



はえ
南風の子

中種子町立

南界小学校

令和6年1月25日(木)

年の初めに当たって

校長 芝原 には

令和6年(2024年)が始まりました。明けましておめでとうございます。元日に、能登半島で大きな地震があり、甚大な被害が出ました。多くの方が亡くなり、避難所で不便な生活を送っている方々が多数おられます。被災地に思いを寄せるとともに、命の大切さや平穏に暮らせる日々のありがたさについて考えていきたいものです。私たちが、毎日を精一杯力強く生きていくことが、被災地の方々への一番の励ましになると思います。

本校では、始業式の翌日から「校内書き初め展」を実施しました。共通課題に取り組んだ学年もあれば、冬休みに自学で調べた四字熟語をしたためた学年もありました。子供たちが書いた四字熟語をいくつか紹介します。

一心不乱・・・何か一つのことに心を集中して、他のことに心を奪われないさま。一つのことに熱中して、他のものに注意をそらさないさま。

自給自足・・・必要とする物を他に求めず、すべて自分でまかない、足りるようにすること。自分で自分に供給し、自分を足らせ満たす意から。

門外不出・・・すぐれた技術や貴重な物などを嚴重にしまっておいて、決して他人に見せたり貸したりしないこと。大切な物を部外者に見せないよう、外に持ち出さないこと。

百戦錬磨・・・数々の実戦で鍛えられること。また、多くの経験を積んでいること。多くの戦いにのぞんで武芸を鍛え磨くことをいう。

七転八起・・・何度失敗してもくじけず、立ち上がって努力すること。七度転んでも八度起き上がる意から。

万里一空・・・世界のすべては同じ一つの空の下にあるという見方を表す表現。どこまで行っても同じ世界だと、冷静に物事を捉える精神的境地を示すとされる。転じて、どこまでも同じ一つの目標を見据え、たゆまず努力を続けるという心構えを表す語として引用されることも多い。

(参照：四字熟語一覧 - goo 辞書, コトバの意味辞典 (word-dictionary.jp))

勉強になりますね。この言葉を選んだ子供が、親御さんとどのような話をしたのかと想像すると楽しくなります。始業式には「目標をもってスタートするときには、ゴールの自分の姿を思い描くことが重要だ。」という話をしました。子供たちには、どんな人になりたいのか、どんな生き方をしたいのかを自分自身でしっかり考えて欲しいと思います。

竜のつく四字熟語もいろいろありますが、「竜頭蛇尾」にならないように、時々、年頭の思いを思い起こしてみるといいかもしれません。そして「画竜点睛」。令和5年度の最後の仕上げをしっかりとできるよう3学期も子供たちと一緒に、職員一同頑張ります。

どうぞ、よろしく願います。

